

<第4207回>

目的地：雲雀山・白上山（紀北）

担当者：山本

実施日：2022年1月9日（日）

形式：初級ハイキング

費用：3,380円（JR天王寺駅発着）

参加者：17名

天気：晴

行程：

天王寺駅(7:27)⇒(8:30)和歌山駅(8:40)⇒(9:23)紀伊宮原駅(9:43)→(10:12)得生寺(10:17)→(10:53)雲雀山(11:07)→糸我峠(11:28)→鹿打坂峠(11:42)→(11:43)本宮稲葉根社[昼食](12:23)→(12:57)白上山(13:05)→(13:14)東白上遺跡(13:18)→(13:25)西白上遺跡(13:34)→(13:52)施無畏寺(13:57)→(14:05)栖原海岸(14:16)→(14:27)端崎(14:35)→(14:58)湯浅町伝建地区[散策](15:30)→(15:50)湯浅駅[解散]

感想：

新年最初の例会は穏やかな天気に恵まれました。紀伊宮原駅から有田川を渡って雲雀山の登山口へ行く途中、中将姫ゆかりの得生寺にお参り。先に進むとちょうど十日戎で糸我稲荷神社には露店も出ていて賑やかだったので立ち寄りたかったのですが、ハイキング装備の17名がゾロゾロお邪魔するのも気が引けましたので、こちらは素通りしました。程なく道沿いのミカン畑の入口に雲雀山登山口の看板があり、ミカン運搬用のモノレールに沿って急な山道を登って行きました。30分ほどで立派な祠のある雲雀山の山頂に到着。有田川を見下ろす景色が広がっていました。この日の例会の登りはほぼこれで終了。山頂から南に進むとすぐにミカン畑の管理用の舗装道路に出ました。ここからは左右にいろいろな種類の柑橘類を眺めながらのんびりと進みました。糸我峠で熊野古道を横切り、鹿打坂峠に到着。そろそろ昼食の時間なので場所を捜していたところ、峠を東に少し上がると日本最古のお稲荷さんという稲葉根社（いなばねのやしろ）があり、その手前にちょうどいい広場がありましたので、そこで昼食。食後は白上山に向かい、道なりに行けばいいものをちょっとでもショートカットで行けそうな道があったので突進。何とか無事白上山に出られましたが、なかなか三角点が見当たらず、ようやく藪の中から探し出しました。白上遺跡はいずれも立派な石の卒塔婆があり、西の方は海の見渡せる絶好のロケーションでした。その後栖原の海岸線まで下り、海沿いの道をのんびり歩いて湯浅の醤油蔵のある伝建地区へ。醤油や金山寺味噌などをお土産に買って湯浅駅に向かうとちょうど和歌山行の列車がやってきました。